

完了後の評価個表

整理番号	森7-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	山口県
ふりがな 地域(地区)名	いわくにし 岩国市	事業実施主体	岩国市、森林組合、農林振興公社等
関係市町村	岩国市	管理主体	岩国市、森林組合、農林振興公社等
事業実施期間	平成19年度～平成23年度(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>①位置等 本地区は、山口県の東部に位置し、東西に約30km、南北に約50kmあり、東は広島県、北は島根県、南は瀬戸内海に面している。</p> <p>②森林の現況 本地区の森林面積は71千ha(森林率82%)、民有林は69千haで森林全体の97%を占めている。民有林のうちスギ・ヒノキを主体とする人工林は30千haで年齢構成は、ピークがⅩⅡ年齢級となっており、利用期を迎えた森林が増加している。また、間伐対象森林(Ⅲ～ⅩⅡ年齢級)は全体の83%を占めている。</p> <p>③本地区を整備する目的・意義 本地区には、これまでに34千haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、木材価格の低迷による林業採算性の悪化や森林所有者の高齢化等により、間伐等の施業が実施されない状況が一部に見られ、木材生産のみならず水源の保全や山地災害の防止など、森林の持つ公益的機能の低下が懸念されていた。このため、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資することを目的として、計画的に除・間伐等の森林施業を推進するとともに、路網が必要な森林においては林道の整備を実施した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽103ha、下刈830ha、除・間伐2,020ha、作業路整備23,314m等</p> <p>林道整備</p> <table border="1"> <tr> <td>・叶畑線</td> <td>車道幅員3.0m</td> <td>開設延長604m</td> <td>利用区域面積</td> <td>132ha</td> </tr> <tr> <td>・大奴田線</td> <td>車道幅員2.0m</td> <td>開設延長694m</td> <td>利用区域面積</td> <td>95ha</td> </tr> <tr> <td>・久保田線</td> <td>車道幅員2.0m</td> <td>開設延長340m</td> <td>利用区域面積</td> <td>97ha</td> </tr> <tr> <td>・日の浦線</td> <td>車道幅員2.0m</td> <td>開設延長560m</td> <td>利用区域面積</td> <td>59ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,654,481千円(当初 総事業費 2,368,000千円)</p>	・叶畑線	車道幅員3.0m	開設延長604m	利用区域面積	132ha	・大奴田線	車道幅員2.0m	開設延長694m	利用区域面積	95ha	・久保田線	車道幅員2.0m	開設延長340m	利用区域面積	97ha	・日の浦線	車道幅員2.0m	開設延長560m	利用区域面積	59ha
・叶畑線	車道幅員3.0m	開設延長604m	利用区域面積	132ha																	
・大奴田線	車道幅員2.0m	開設延長694m	利用区域面積	95ha																	
・久保田線	車道幅員2.0m	開設延長340m	利用区域面積	97ha																	
・日の浦線	車道幅員2.0m	開設延長560m	利用区域面積	59ha																	

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成29年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 費用対効果分析手法の見直し、事業の多様化に伴う本事業の森林整備面積の減及び林道事業の見直しに伴う事業量の減などの要因により、総費用が大幅に減少した。</p> <p>総便益(B) 23,884,818千円 (事業採択時 57,706,978千円) 総費用(C) 4,296,771千円 (事業採択時 12,734,955千円) 分析結果(B/C) 5.56 (事業採択時 4.53)</p>
② 事業効果の発現状況	<p>本事業で間伐等の適時適切な施業を実施したことにより、公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備されている。 また、林道整備により、施業地へのアクセス時間の短縮や搬出コストの低減が図られ、主伐等の計画的な林業経営が可能となった。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業で整備された森林は、森林経営計画等により適正に維持管理されている。 本事業により開設された林道は、管理者である岩国市が岩国市林道管理規程に基づき適正に管理している。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備が実施され林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、森林の景観が向上してきている。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>森林資源の充実や県産木材の需要拡大の取組により、切捨間伐から利用間伐へ移行している。 また、本地区内において木質専焼バイオマス発電所が建設されたことにより木材需要が伸び、森林施業意欲が増進されている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林施業の実施に対する意欲が増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、今後も引き続き森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>(地元の意見) ・ 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(岩国市・地元)</p>

評価結果

- ・必要性： 利用区域内のスギ・ヒノキの人工林のピークがⅫ齡級と充実してきていることから、木材の伐採・搬出作業の効率化が重要となっている。林業生産性の向上及び森林の適正な管理を図るため、計画的な路網整備等の基盤づくりが必要である。また、森林のもつ公益的機能の高度発揮の観点から、継続的な施業実施の必要性が高い。
- ・効率性： 森林整備に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め、事業の効率性が認められる。
- ・有効性： 健全な森林整備によって、水源涵養、国土保全等の公益的機能の確保に有効である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：山口県

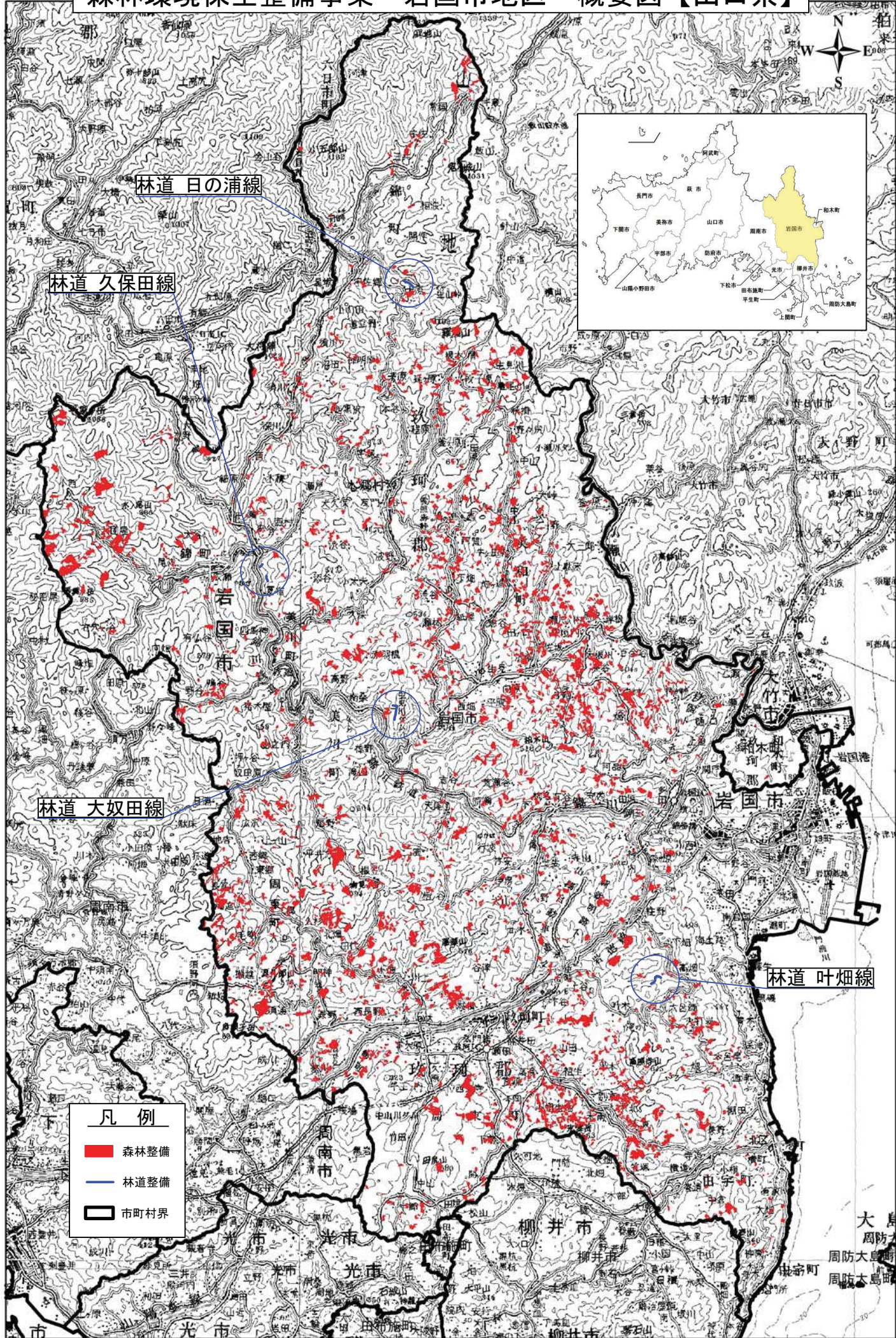
地域(地区)名：岩国市^{いわくにし}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	6,456,113	
	流域貯水便益	1,284,521	
	水質浄化便益	2,805,738	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,533,100	
環境保全便益	炭素固定便益	5,220,674	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,933,362	
森林整備経費縮減便益	森林管理等経費縮減便益	4,013	
	森林整備促進便益	1,647,297	
総 便 益 (B)		23,884,818	
総 費 用 (C)		4,296,771	
費用便益比	$B \div C = \frac{23,884,818}{4,296,771} = 5.56$		

森林環境保全整備事業 岩国市地区 概要図【山口県】

-169.1



林道 日の浦線

林道 久保田線

林道 大奴田線

林道 叶畑線

- 凡例
- 森林整備
 - 林道整備
 - 市町村界

1:200,000

山口県

-224.7